

上手な受診のために・・・



普段できること

・普段から子どもの様子を観察する

お子さんの特徴やくせ、体調を把握し、もしものケガ・病気などの時にも、早めに発見できるようにしておきましょう。

・かかりつけ医をつくりましょう

日頃からお子さんの特徴やくせ、体調、病歴などを知っているかかりつけ医をつくり、気軽に相談でき、的確な助言や指導、診察を受けられるようにしておきましょう。

受診するとき

・できるだけ診療時間内に受診する

診療には医師以外にも検査技師、薬剤師、看護師など多くのスタッフが必要であり、できるだけこれらのスタッフがそろっている平日の昼間(通常の診療時間帯)に受診するようにしましょう。

・症状や様子のわかる人が連れていく

受診のときには、お子さんの様子や食事の状況、飲ませた薬などをきちんと説明できる人が一緒に行くようにしましょう。

・診察室でたずねられること、整理しておく

診察室では、ケガや病気の症状や経過についてたずねられますので、整理しておきましょう。

* 医療機関に持っていくと役立つもの *

- ・母子健康手帳、健康保険証、乳幼児医療費受給資格証、熱の状況を書いた体温表(グラフ)、病気の経過を書いたメモ、おくすり手帳、飲んでいる薬や名前などがわかるもの
- ・紙おむつ、ミルクセット、ビニール袋、着替え、タオル、ティッシュペーパー、待ち時間のためのおもちゃや絵本など。(あらかじめ、ひとまとめにしておくとう便利です。)
- ・便の状態がおかしいと思う時には、その便をビニール袋にいれるなどして持っていく